

自然の大切さを学び資源を守る 津山で市民参加の新たな森林づくり

「市民参加の新たな森林づくり」（県、市共催）が4月29日、津山町横山地区の大萱沢浄水場付近の山林で行われました。

水環境の保全や自然の大切さを広めようと、県と市が植林ボランティアを募集。市内の小学生や一般住民、県内外から応募があり、約70人のボランティアが参加しました。

植樹したのは、花粉の少な

い新しい品種のスギの苗木500本。県森林インストラクターの伊藤重孝さん（追町）、千葉隆雄さん（東和町）らの指導で、参加者は一本一本丁寧に植樹しました。

また、伊藤さんらはスギの成長過程なども解説。植樹終了後には、参加した子どもたちに手作りの竹鉄砲をプレゼントしました。

布施市長は「植樹した小さな苗木は、皆さんの成長とともに何十年もかけて大きくなります。この取り組みは将来わたしたちのまちや地球全体にとって大きな力になります」と話しました。

ポランティアに参加した今野主税君（横山小6年）は、「苗木を植えるために穴を掘るのが大変だったけど、森林は人間にとって大切なことが分かりました。また機会があれば植樹したいです」と話してくれました。



スギを植樹する横山小児童



布施市長も自ら植樹に挑戦



植樹に参加したボランティアの皆さん

工夫を凝らし季節を彩る

追・津山で山野草展示会

新緑の季節を迎え、市内各地で山野草の展示会が開かれました。

追町山野草愛好会（吉田宏会長）は5月11、12日の両日、追町老人福祉センターを会場に開催。会員手作りの山野草

100種類、220点が展示され、市内外から200人以上の見物客が訪れました。

吉田会長は「今年で9回目ですが、年々栽培方法が上達している。今後は増殖方法が習得できるよう、研修会などを開いていきたい」と抱負を話してくれました。

津山町道の駅「もくもくランド」では13、14日の両日、五葉山草会（池田俊雄会長）による展示会が開かれ、1200人が来場しました。

会員が丹精を込めて育て、それぞれが工夫を凝らして創作した作品200点が並べられ、道の駅を訪れた多くの観光客が足を止めました。



色とりどりの作品が並べられた山野草展示会（追町）



1200人が訪れた春の創作山野草展（津山町）

力を合わせて 明るいまちへ 津山で防犯指導隊発隊式

津山地区に防犯指導隊が設立され、発隊式が4月29日、津山老人福祉センターで行われました。

市内では追、東和、中田、南方、豊里に次ぐ6例目。登米警察署、市関係者ら約50人



規律正しい動作で隊員紹介が行われました

長沼ダム建設事業が本体築造工事の段階に達し、起工式が5月11日、追町北方の築造予定地で開かれました。

式には、発注者の佐藤県土木部長をはじめ、布施市長、佐藤栗原市長、地元選出県議会議員、地権者、工事関係者ら約60人が出席。工事の無事や完成後の地域振興を祈願し

ました。

佐藤部長は「この地域は過去に台風などで大きな洪水被害を受けてきた。これまで工事が順調に進んできたのも、地権者皆さんの協力があったからこそ。ダムが登米・栗原両市の発展につながることを望みます」とあいさつしました。



工事の進み具合を見学する住民

治水利水の拠点、最終段階へ 長沼ダム本体工事起工式

布施市長や関係者らがくわ入れをしました

追川の水を堤導水路を通じてダムに貯留し、流域の洪水調整を行うもので、追川の水位が低下したら再び導水路を経て追

川に放流します。ダムの高さは15・3㍍、総貯水容量3180万立方㍍。洪水調節や流水の正常な機能維持のほか、漕艇場を取り入れた多目的ダムとして建設されています。



布施市長から辞令を受け取る遠藤隊長

が出席し、新隊員14人に布施市長が辞令を交付しました。

市長は「防犯を心掛ければ犯罪が起きないとも、交通安全にもつながり地域から事故が減ります。14人の隊員は地域の防犯のリーダーとして、犯罪が起きないように活動に励んでほしい」と激励。隊長の遠藤一太郎さんが「安心して安全な生活を送ることがわたしたち市民の願い。犯罪のない明るいまちになるよう、隊員全員で力を合わせて頑張りたい」と決意表明しました。

また、「防犯指導隊の役割」と題して、登米警察署管原武芳生活安全課長が講話。管内の防犯状況などの報告もあり、出席者は地域防犯を誓っていました。

式終了後は、追町内の住民や地権者を対象とした現場見学会を実施。約50人が参加し、工事の進み具合などを見学しました。